

令和6年度 第1回 北部中学校運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和6年4月26日（金）13時30分から15時30分
2. 開催場所 北部中学校 会議室
3. 出席委員 平間 一彦 遠藤 喜和 谷口幸子
高木早由里 佐野孝輔 石坂昌義
4. 欠席委員 なし
5. 学校支援コーディネーター 渡邊 薫
6. 学校 渡辺 博幸（校長）村松 還（教頭）茂 一美（CS担当職員）
神谷 待由紀（生徒指導主事）鈴木 千佳（CSディレクター）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 鈴木 千佳（CSディレクター）
9. 議長の選出 佐野委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した
10. 協議事項
 - (1) 今年度の学校経営方針について
 - (2) いじめ防止等のための基本的な方針について
 - (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
 - (4) 2年生 未来授業・勤労体験学習について
3年生 生き方指導について（進路に向けて）
11. 会議記録
 - ・ 司会の教頭より委員総数6人全員の出席があり開催要件が満たされ、会が成立する旨の報告があった。
 - ・ 初めに会長と校長より挨拶があり、続いて新規委員の任命が行われ、出席者が自己紹介を行った。
 - ・ 司会の教頭より学校運営協議会規則（第3・8・10・12・15条）について説明があった。
 - ・ 熟議に先立ち、委員の方々に授業・校内風景をご参観いただいた。

(1) 今年度の学校経営方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき今年度の学校経営方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・(目指す学校像に「あいさつができ、元気にあふれ、規律のある学校」とあるが)大人から挨拶をすると子供たちからも挨拶が返ってくる。まずは大人から挨拶をすることが大切では。子供たちの自発的な挨拶もそこから始まると思う。
- ・(学校経営の重点の一つとして『①授業の充実「主体的・対話的で深い学び」の実現のために昨年度同様に授業研究に取り組む』とあるが)生徒に対しては、より分かりやすい言葉や表現でかみ砕いて伝えた方が、理解しやすいように思う。
- ・(学校経営の重点の一つとして『③生徒主体の学校行事・部活動』とあるが)部活動はとても大事だと感じる。先生とも卒業してからの繋がりや絆を持つことができる。(平間委員)

PTA 活動の現状について質問が出されたため、石坂委員より報告がなされ、委員全員で現状を共有した。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、生徒指導主事から別紙資料に基づきいじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・(浜松市が認知している市内のいじめ件数 令和4年度-約4800件、令和5年度-約8500件について)
認知数が増えた理由は何か？(佐野委員)

→より小さな事案にも目を向け、細分化した結果。今年度もいじめの認知に努め、重大化させないように対応する。(生徒指導主事)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭から別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業の趣旨説明およびCS加算分に対する意見書について説明があった。委員から子供のキャリア教育に寄与するように使ってほしいとの意見が出た。

(4) 2年生/未来授業・勤労体験学習

3年生/生き方指導について（進路に向けて）

佐野委員より2年生対象の未来授業についての説明があり、続いてCS担当職員より3年生対象の生き方指導について（進路に向けて）の説明と協力の要請があった。

○その他の連絡事項 なし

○次回の開催日時

令和6年11月18日（月）14時00分から